

本日ここに平成 29 年度入学式を挙げるに当たり、新入生並びに御列席頂きました御父母・御家族・御友人の皆様に対し心より御祝いを申し上げます。

今年も千葉工業大学は、日本に 779 校ある 4 年制の全ての大学の中で 9 番目に多い志願者を集めました。大変な難関を突破し晴れて千葉工業大学の入学式を迎えられた皆さんの感慨もひとしおだと思ひます。桜咲く今日、才気溢れ前途洋々たる皆様をお迎え出来たことは、千葉工業大学にとりまして大きな慶びであります。

千葉工業大学は今年 5 月 15 日に創立 75 周年を迎えます。このような節目の年に入学することは皆さんにとっても記念になると思ひます。

千葉工業大学は昭和 17 年に旧制大学として創立されました。日本では国立の東京工業大学に次いで 2 番目に長い歴史を持つ工業大学です。戦前は官立以外の大学において工学教育を行うことがなかなか認められなかったこともあり、工学部を設置できた私立大学はごく僅かでした。その中でも創立時から大学予科 3 年・本科 3 年の教育課程を認められたのは、早稲田大学、慶應義塾大学そして千葉工業大学の 3 つの大学だけでした。

昭和の初め、日本の工業技術は欧米先進国のそれと比べ大きな遅れをとっていました。我が国を代表する先進的なエリート・オピニオンリーダーであった東久邇宮稔彦殿下、教育学者の小原國芳先生、森財閥の森曉先生、作家の武者小路実篤先生らが、欧米に負けない大学をつくり優れた工業人材を育成するために創立したのが本学です。共に本学の創立に大きく関わった我が国を代表する哲学者である西田幾多郎先生は、本学の設立趣意書に、「広く世界に知識を求めるとの好学力を持ち、日本だけではなくアジアを背負い世界文化に尽力する人物を養成する」と書き、建学の趣旨を明らかにしました。この理想は「世界文化に技術で貢献する」という建学の精神として、本学に関係する全ての人々によって今日まで脈々と受け継がれてきました。

京都帝国大学総長の小西重直先生を初代学長に迎え、磁性物理学の世界的権威である本多光太郎先生、八木アンテナで知られる八木秀次先生らが参加して開学した本学には、創立当初から官民挙げて大きな期待が寄せられていました。開学 3 年目の入学試験には定員の約 45 倍の受験生が殺到し、当時の若者たちの羨望を集めた大学であったことが窺えます。

本学の建学の精神「世界文化に技術で貢献する」と、教育目標の最初にある「広く世界に知識を求めるとの好学力を持つ人材の育成」には、共に「世界」という単語が使われています。千葉工業大学は世界を目指して創立され常に世界を意識して発展してきた大学です。グローバル化した世界において、本学の重要性は益々高まり、人々が未来への確かな指針を待ち望んでいる現代社会において、本学は人類の未来を切り拓くための創造性を生み出す源になるものと考えます。今まさに、本学の建学の精神である「世界文化に技術で貢献する」人材が全世界で求められています。

この場には学部生の皆さんと大学院生の皆さんがいらっしゃいますが、どちらの皆さんにも、常に「世界に通用する社会人になる」ということを意識して大学生活を送って頂きたいと思ひます。専門性を高め学問と研究を極めるために集まった大学院生の皆さんは、まさに英知の集団と言えます。専門的な知識や語学力そして研究能力を更に高めることは勿論のこと、弛まず取り組む実行力やリーダー

ーシップを身につけてください。

学部生の皆さんは、これからの4年間で様々なことを学びます。千葉工業大学の設立趣意書には、「この工業大学は、自ら学び、自ら体験し、自ら模索し、自ら創造する力をつけさせ、いかなる困難に遭遇しても正しいことを実現しようとする活動力（バイタリティ）のある人材を生み出すことを念願しており、決して単なる知識人や技術者を育成するものではない」と書かれています。

これを実現するために、最初に皆さんは優れた工業人材になるための基礎となる教養を高める科目を多く履修します。工業大学における教養科目は、中世ヨーロッパの大学において、医学や法学といった専門科目を学ぶ前課であった自由七科に基礎を置くものと考えられます。それは、文法学、論理学、修辞学、幾何学、算術、天文学、音楽の7つの科目です。名前だけ聞くと難しいと感じる方もいるかも知れませんが心配は要りません。これらの多くは今まで皆さんが数学や国語で学んで来たこと、特に数学における考え方に通じるものです。具体的には、論理的に書く力・話す力、人に伝える力即ちプレゼンテーション力、そして証明する力、計算する力を身に付けてください。高校時代に理系を選択した皆さんにとっては得意な科目だと思います。

天文学を講義科目として学ぶ機会は少ないかも知れませんが、しかし頻りにマスコミ等で紹介されているように、本学の惑星探査研究センターは、惑星・宇宙・ロケット等に関する最先端の研究成果をあげています。学生が参加できるロケットの製作や天体観測等の取り組みがありますので積極的に参加して科学の英知に接するといいいでしょう。

更に専門科目の基礎となる理科や語学力を徹底して修得し、体育の授業では果敢にして実行力のある意志を培って頂きたいと思います。また課外活動等を通じて、音楽などの芸術活動によって純粋かつ崇高な情操を養い、豊かなそして堅実な人格を陶冶して欲しいと思います。

それぞれの学科の専門科目では、講義・演習・実験等を通して、先人が残してくれた多くの優れた知見・設計法の技術等を徹底的に修めてください。卒業研究や修士研究では、自ら発見し、証明し、人に伝える醍醐味を味わってください。

今社会は、即戦力となる人材、即ち採用されたその日からそのポストの仕事をこなせるだけの高度な専門性を有した人材を求めています。世界を股にかけて働くグローバルリーダーを求めています。地道に研究開発に従事し新しい価値を生み出す研究能力のある人材を求めています。このような人材として、大学院修士課程修了者が注目されています。一例として、国連をはじめとする国際機関では、一部の例外を除いて修士号以上の学位を有することが採用の条件になっています。日本の大企業においても、技術系の採用枠の多くを修士課程修了者に与えるところが増えていきます。これは参考に過ぎませんが、日本とアメリカでは、既に修士課程修了者の平均的な生涯所得が学部卒業生のそれよりも16.5%高くなっていることから、各所の主要なポジションには大学院修士課程修了者が多く就いているという研究成果も発表されています。皆さんには将来グローバルリーダーとして活躍して頂きたいと思っていますので、私は多くの人に、学部卒業後は大学院修士課程へ進学することを、今から強く薦めたいと思います。

千葉工業大学に入学された皆さんが充実した大学生活を送られることを願っています。是非これからの学生生活において自己の可能性を最大限に引き出し新

しい課題に果敢にチャレンジされることを心から期待して私の式辞といたします。千葉工業大学御入学おめでとうございます。

平成 29 年 4 月 1 日
千葉工業大学 学長 小宮一仁